

日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) のメンテナンスに伴う 緊急地震速報等への影響について

2月上旬から3月下旬にかけて、日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の観測点においてメンテナンスが実施されることに伴い、同観測点の活用により得られていた緊急地震速報の発表等における迅速化の効果が得られなくなります。

気象庁は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の協力を得て、同研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の観測データを緊急地震速報や津波情報の発表に活用し、情報発表の迅速化を図ってきました。

今般、同研究所において、2月上旬から3月下旬にかけて S-net のメンテナンスを実施する予定です（詳細は別紙1参照）。これに伴い、メンテナンス予定時間帯は、当該観測点のデータを緊急地震速報の発表や津波警報の更新等に活用できなくなります。この時間帯に当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、S-net のデータを活用することにより得られていた緊急地震速報の発表、津波警報の切り替え、津波観測情報の発表の迅速化や精度向上の効果が低減します（迅速化の効果については別紙2参照）。

なお、津波警報（第1報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

問合せ先：(S-net のデータ入手について)

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 五十嵐、西

電話 03-6758-3900（内線 5246、5282） FAX 03-3584-8643

(緊急地震速報について)

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 岡本、森本

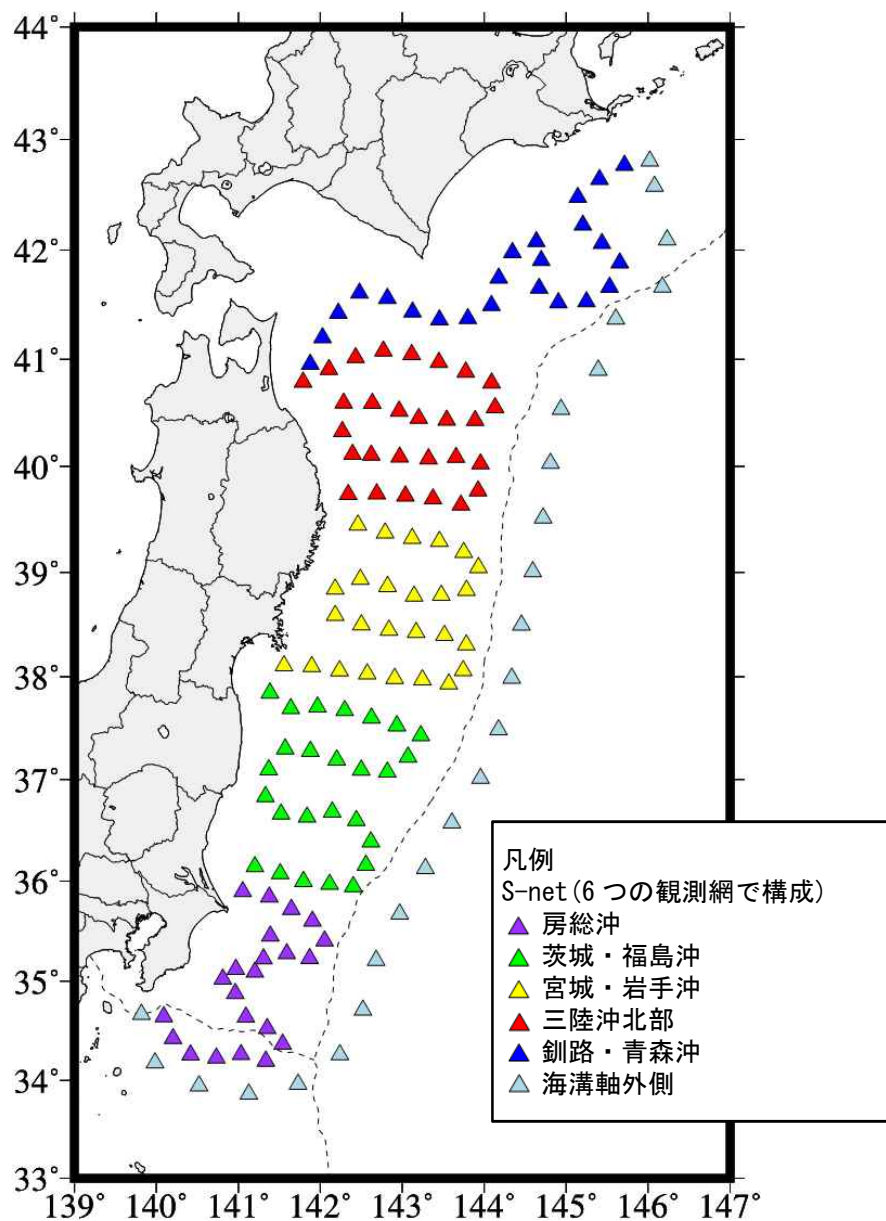
電話 03-6758-3900（内線 5242、5252） FAX 03-3584-8643

(津波情報について)

地震火山部地震津波監視課 担当 平野、富士井

電話 03-6758-3900（内線 5142、5143） FAX 03-3584-8644

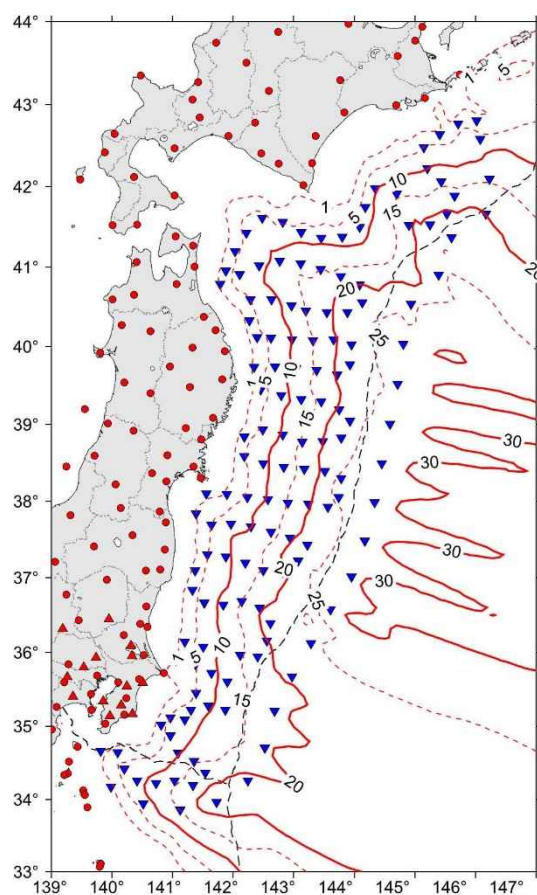
日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の観測点配置図



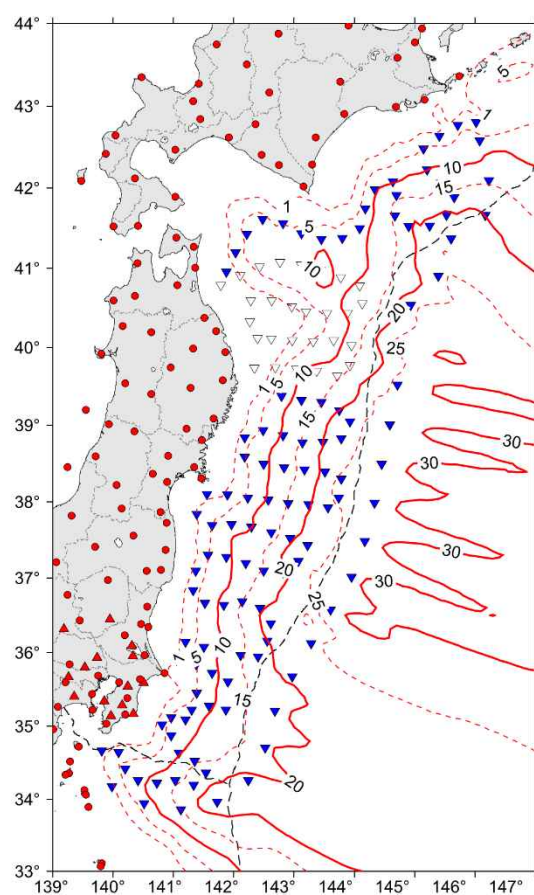
メンテナンス予定日時	対象の観測網	メンテナンス予定日時	対象の観測網
①2月 1日 10:00 - 2月 1日 10:30 2月 1日 13:30 - 2月 4日 15:00 3月25日 09:30 - 3月25日 11:30	三陸沖北部 ▲	⑤3月 1日 14:00 - 3月 1日 16:00 3月 2日 09:30 - 3月 2日 12:00 3月 3日 15:00 - 3月 3日 15:30	茨城・福島沖 ▲ および 宮城・岩手沖 ▲
②2月15日 10:00 - 2月15日 10:30 2月15日 14:00 - 2月15日 16:00 2月18日 09:00 - 2月18日 18:00 3月 1日 10:00 - 3月 1日 10:30 3月 5日 09:00 - 3月 5日 15:00	茨城・福島沖 ▲	⑥3月 8日 13:30 - 3月11日 15:00 3月26日 09:30 - 3月26日 11:30	釧路・青森沖 ▲
③2月16日 10:00 - 2月16日 10:30 2月16日 13:30 - 2月16日 15:00	房総沖 ▲	⑦3月15日 13:30 - 3月16日 10:00 3月16日 10:30 - 3月16日 13:30 3月16日 15:00 - 3月18日 15:00 3月26日 13:00 - 3月26日 15:30	海溝軸外側 ▲
④3月 1日 13:30 - 3月 1日 14:00 3月 1日 16:00 - 3月 2日 09:30 3月 2日 12:00 - 3月 3日 15:00 3月 3日 15:30 - 3月 4日 15:00 3月24日 09:30 - 3月24日 11:30	宮城・岩手沖 ▲	⑧3月16日 10:00 - 3月16日 10:30 3月16日 13:30 - 3月16日 15:00	房総沖 ▲ および 海溝軸外側 ▲

※メンテナンス予定日時については、作業の状況により多少前後する可能性があります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

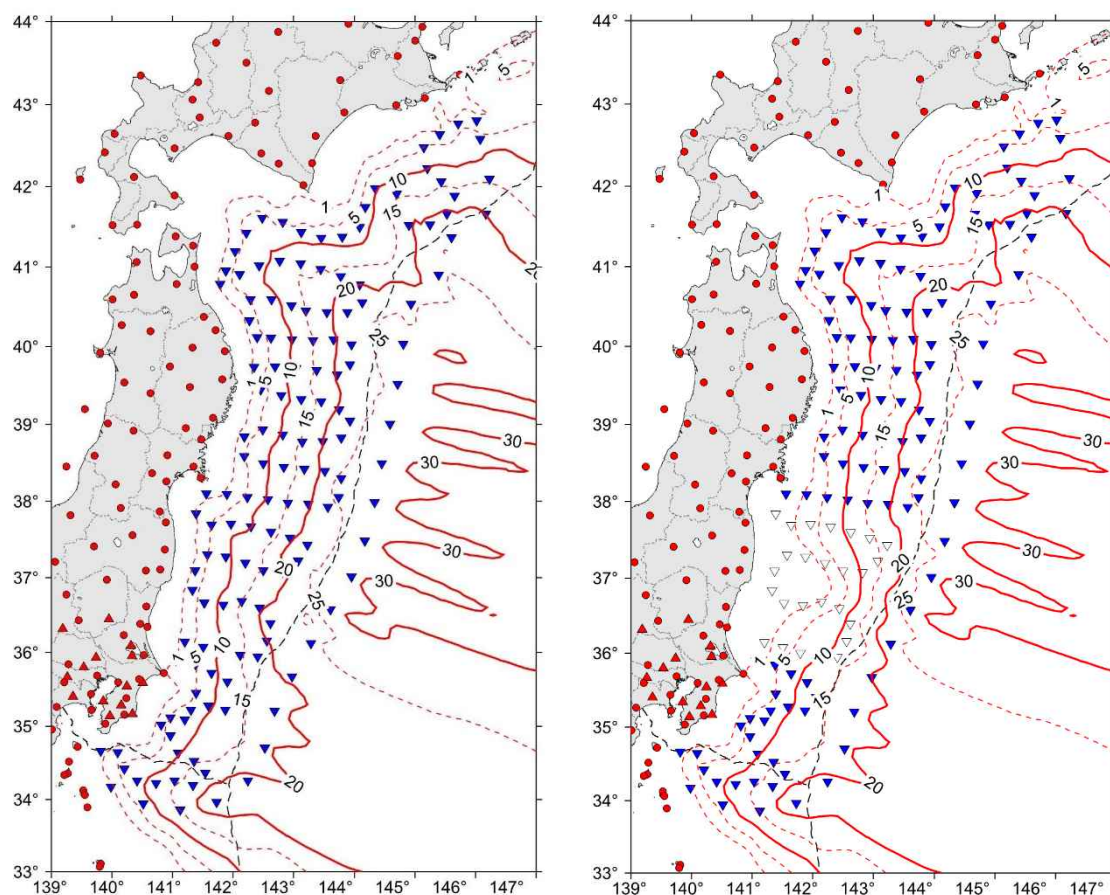


別紙 1 の⑩のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点（三陸沖北部）が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報（警報）の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示します。

▽の S-net 観測点（三陸沖北部）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点（三陸沖北部）がメンテナンス中の場合は最大で 20 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



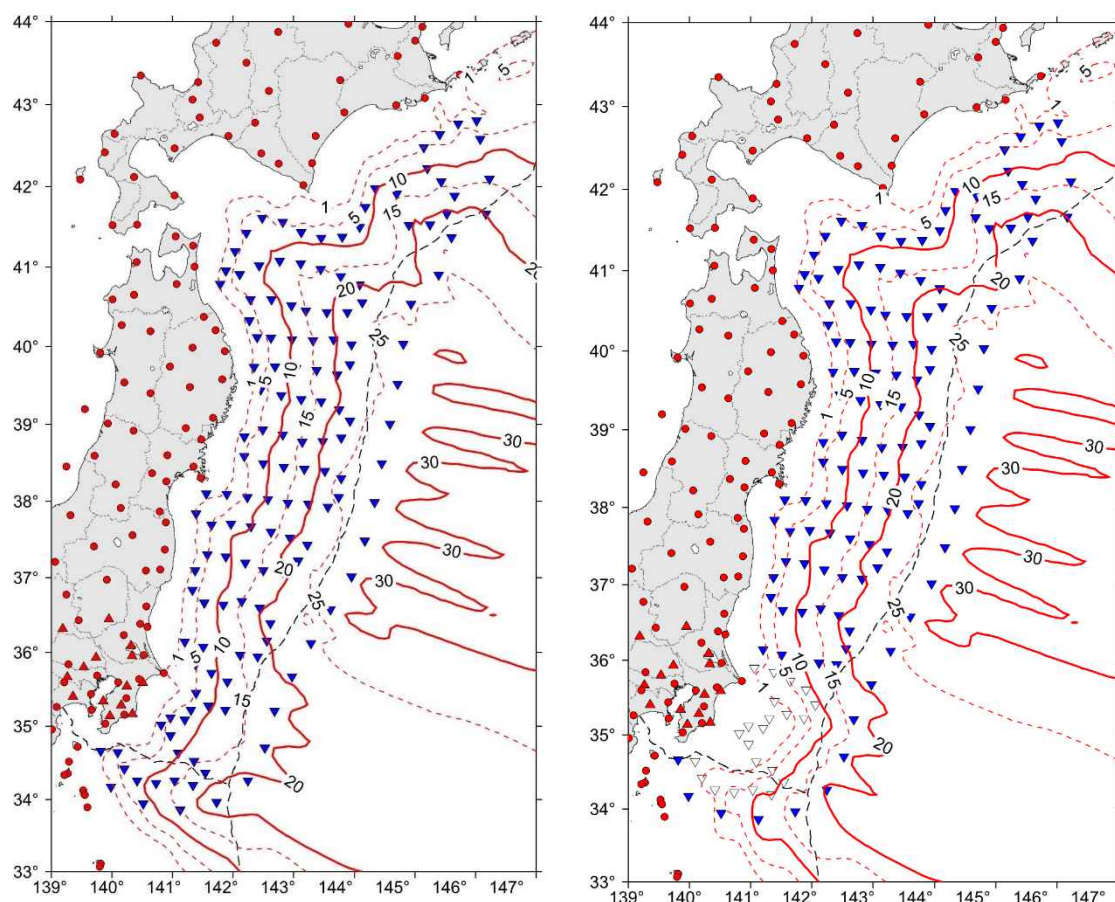
S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

別紙 1 の②のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点 (茨城・福島沖) が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報 (警報) の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値 (秒) を示します。

▽の S-net 観測点 (茨城・福島沖) 周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報 (警報) の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点 (茨城・福島沖) がメンテナンス中の場合は最大で 20 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



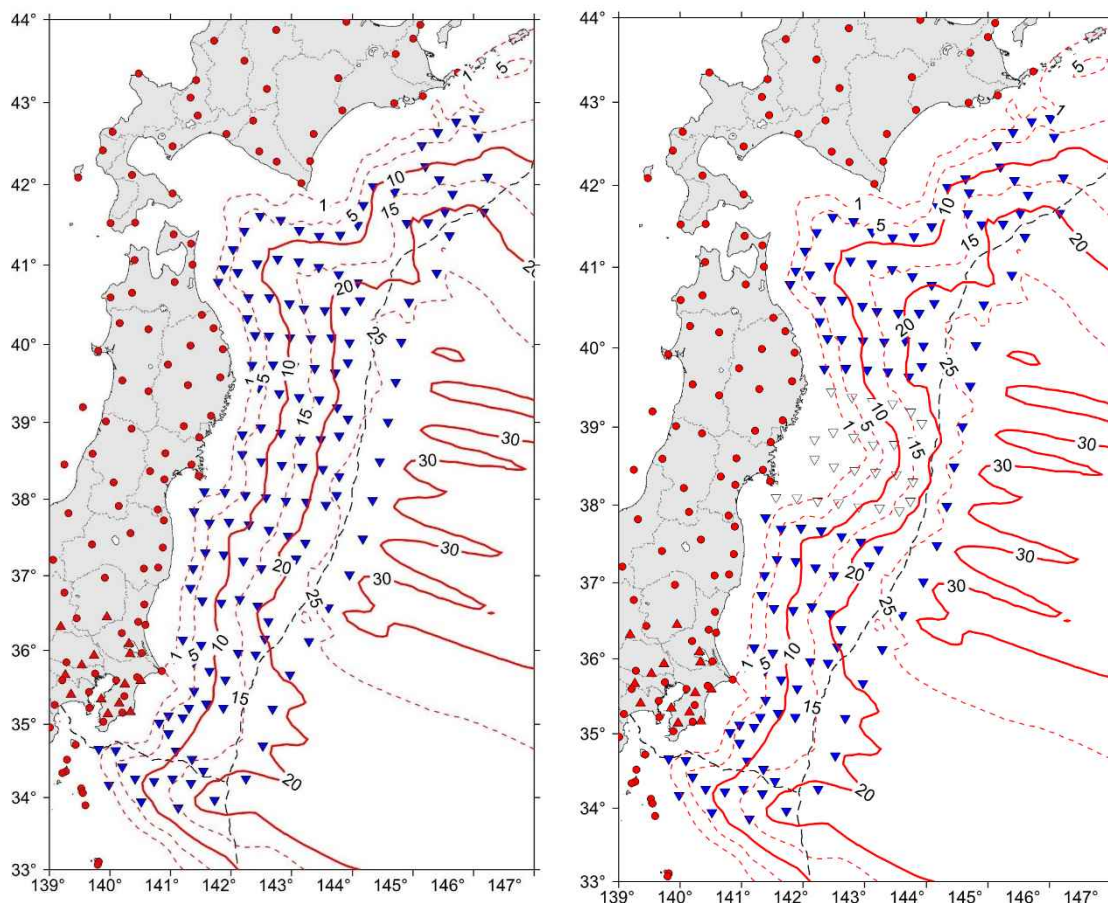
S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

別紙 1 の③のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点（房総沖）が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報（警報）の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示します。

▽の S-net 観測点（房総沖）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 15 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点（房総沖）がメンテナンス中の場合は最大で 10 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



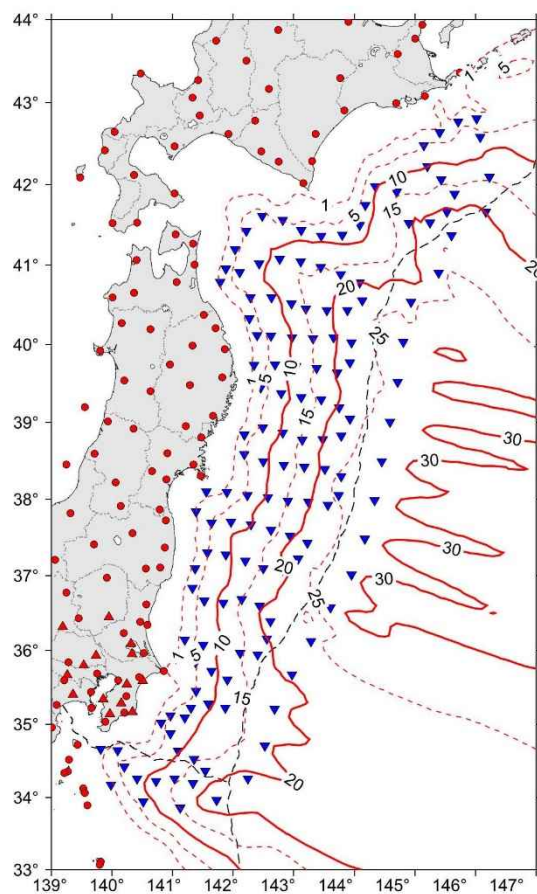
S-net を緊急地震速報に活用した
際に得られる緊急地震速報の迅
速化の効果 (秒)

別紙 1 の④のメンテナンス時間
帯に▽の S-net 観測点 (宮城・岩
手沖) が緊急地震速報に活用でき
ない場合に得られる緊急地震速
報の迅速化の効果 (秒)

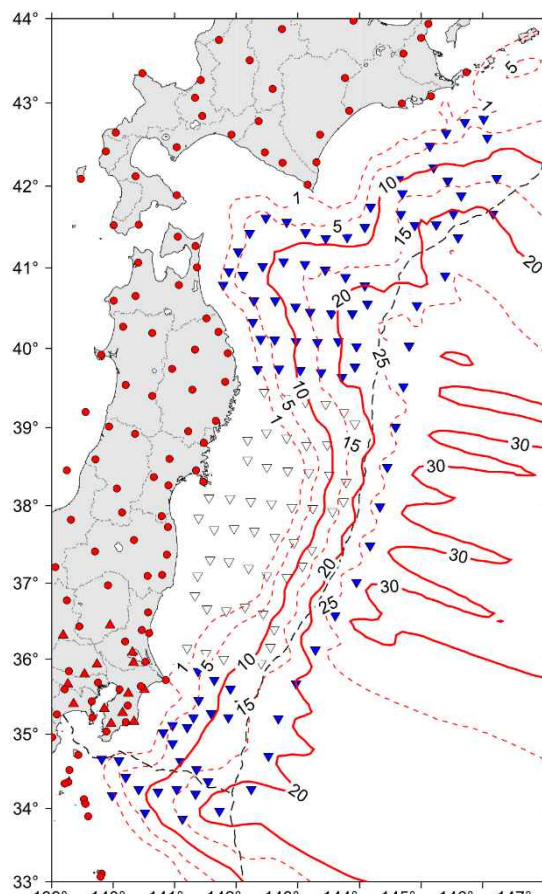
各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報 (警報) の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値 (秒) を示します。

▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖) 周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報 (警報) の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点 (宮城・岩手沖) がメンテナンス中の場合は最大で 20 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



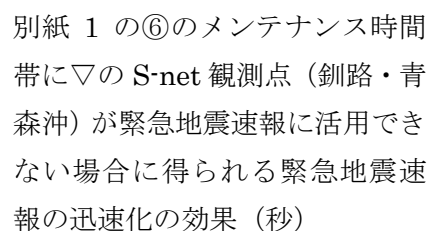
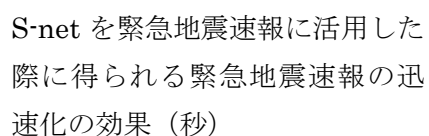
S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)



別紙 1 の㊸のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点（茨城・福島沖および宮城・岩手沖）が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

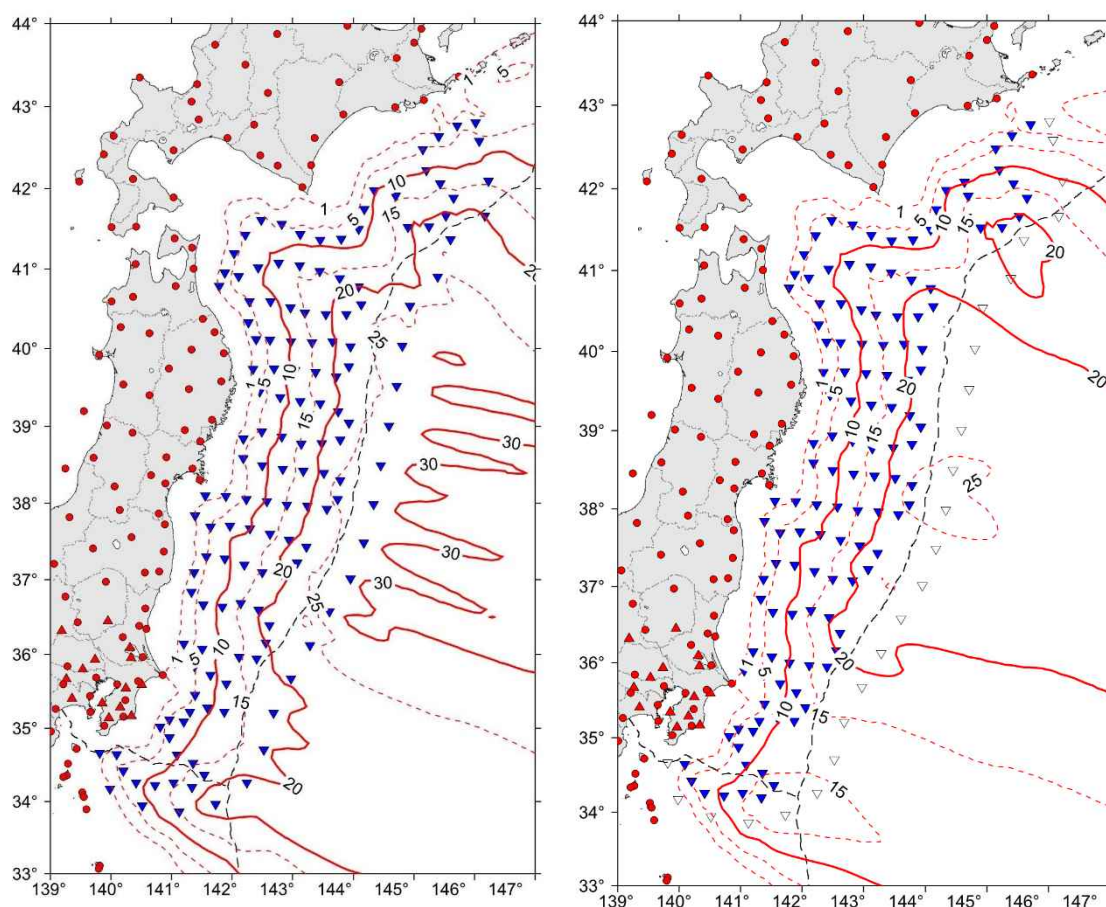
各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報（警報）の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示します。

▽の S-net 観測点（茨城・福島沖および宮城・岩手沖）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 25 秒程度となりますが、（茨城・福島沖および宮城・岩手沖）がメンテナンス中の場合は最大で 20 秒程度となります。



▽の S-net 観測点（釧路・青森沖）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 20 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点（釧路・青森沖）がメンテナンス中の場合は最大で 15 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



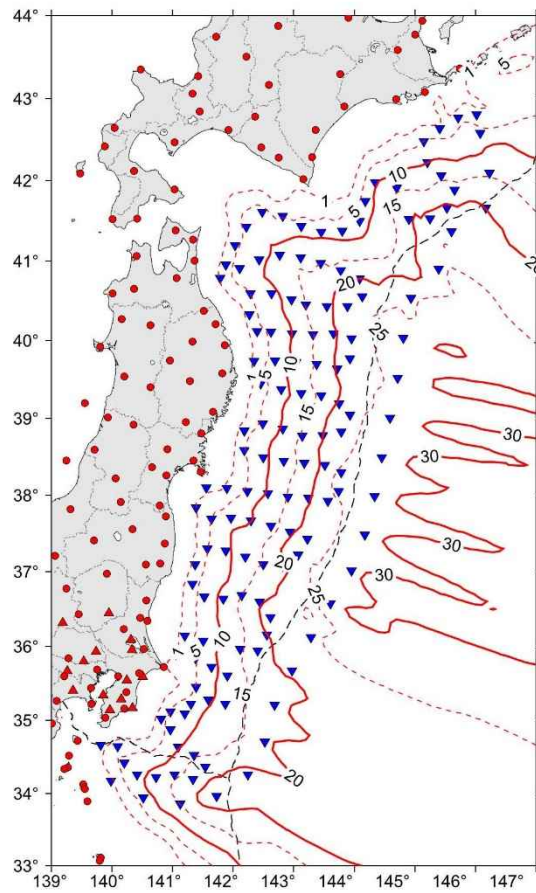
S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

別紙 1 の⑦のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点（海溝軸外側）が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果（秒）

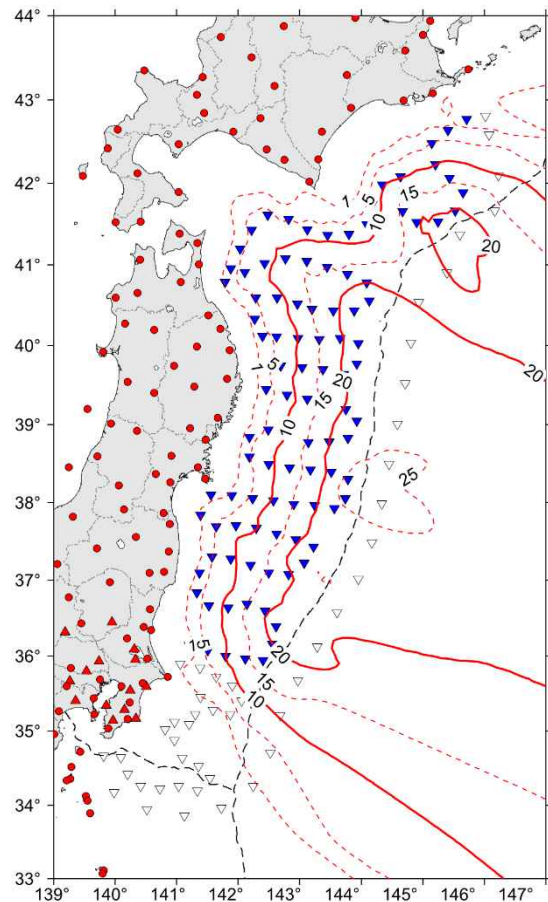
各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報（警報）の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示します。

▽の S-net 観測点（海溝軸外側）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 30 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点（海溝軸外側）がメンテナンス中の場合は最大で 25 秒程度となります。

S-net 活用による緊急地震速報の迅速化



S-net を緊急地震速報に活用した際に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)



別紙 1 の⑧のメンテナンス時間帯に▽の S-net 観測点（房総沖および海溝軸外側）が緊急地震速報に活用できない場合に得られる緊急地震速報の迅速化の効果 (秒)

各図中の値は、その地点で地震が発生した場合に、S-net を活用しない場合と比べて、緊急地震速報（警報）の発表がどの程度早まるかを計算した理論上の最大値（秒）を示します。

▽の S-net 観測点（房総沖および海溝軸外側）周辺で発生する地震について、S-net の観測データを活用した際に得られる緊急地震速報（警報）の迅速化の効果は最大で 30 秒程度となりますが、▽の S-net 観測点（房総沖および海溝軸外側）がメンテナンス中の場合は最大で 25 秒程度となります。